

【シンガポール】

9-10月の市場動向トピックス

- 2018年9月の訪日シンガポール人数は、前年同月比5.4%増の23,400人で、9月として過去最高を記録。
- 2018年10月の訪日シンガポール人数は、前年同月比9.4%増の35,100人で、10月として過去最高を記録。2017年3月以降20ヶ月連続で当該月最高を更新中。
- 秋は紅葉等を目当てにした訪日が増える時期であり、2017年から行っている秋季の訪日需要拡大のためのプロモーションやコンテンツの充実により、SIN事務所が運営する訪日コミュニティサイト内でも秋の記事の検索が増える等、旅行シーズンとして春季の送客に次ぐ地位を獲得しつつある。また、新規就航、機材の大型化によって航空便座席供給数が全体的に増加傾向にあり、一定の訪日数の伸びに繋がっている。

9-10月の主なプロモーション活動

- 9月にはインフルエンサーを東北地域に招請し、会員専用サイト「JAPAN By Japan」を活用した情報発信や動画配信を行い、一般消費者に東北旅行の魅力をPRした。また、10月には4日間にわたり開催されたJR東日本運営の「Japan Rail Cafe」主催のイベントにて、東北情報発信ブースを出展し、期間中にインフルエンサーが自身の体験から東北を紹介するトークショーを開催した。また会場には果物狩りを疑似体験しながら東北の知識を得たり、東北の果物を使った商品があたるラッキードローに参加したりできるコーナーを設けた。



招請時に撮影した写真・動画(左・中)

イベント内に設置した果物狩り体験ブース(右)

<https://japanbyjapan.com/tohoku/travel-ideas/>

- 10月より中部と九州の食の紹介に紐づけたかたちで大手オンライン・トラベル・エージェンツ(OTA)との共同プロモーションを開始した。